

ニュース・レター

NO15

2013年 創立10周年記念大会号

おやじ日本

創立10周年記念全国大会開催！

広がれ！おやじの輪

～語ろう子どもたちと～

平成25年6月30日(日)午後1時25分～

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

主催：認定特定非営利活動法人おやじ日本

共催：渋谷区 読売新聞社 全国読売防犯協力会

これからも着実に、一步ずつ



認定NPO法人おやじ日本

理事長 竹花 豊

残暑お見舞い申し上げます。

少し遅ましたが、おやじ日本創立10周年記念大会の模様を伝えるニュースレターをお届けします。多くの方々のご支援、ご協力のおかげで、よい大会ができたと嬉しく、また、誇りに思っています。

10年は短いようですが、それでもいろいろな出来事があり、一つ一つ皆で克服して今日があります。私たちに問われたのは、子どもたちへの思いと大人としての責任だったと思います。そして、誠実に生きることの大切さを実感させてくれたと思います。

大会では、まず、私たちと関わりを持ちながら、全国各地で様々な活動を展開している皆さんの活躍ぶりを紹介したのですが、私にとって驚きの内容が多くありました。また、今回初めて、子どもたちと直接話す機会を作りました。どうなるかと心配していたのですが、ダニエルさんや早川さんの素晴らしいお話があり、子どもたちも話しやすかったのではと感じています、それにもダニエルさんの父親についてのお話は考えさせられますね。

大会終了後の会でもこれからのおやじ日本が大切だと指摘されました。よくわかっているつもりですので、いろいろチャレンジしていきたいと思っております。

これまでの皆様のご支援に感謝し、また、今後のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ありがとうございました。

平成25年通常総会、無事終了

6月30日(日)認定特定非営利活動法人おやじ日本創立10周年記念全国大会開催に先立ち、午前10時より、大会会場の渋谷区文化総合センター大和田4階大練習室にて、平成25年度通常総会が開催されました。冒頭、竹花豊理事長より、多くの方々のご支援を得て、創立10周年を迎えることができたことに深く感謝申し上げる。今後も会員の皆さんとともに着実に一步ずつ活動を進めていく旨の挨拶があり、続いて、議長に伊東一吉副理事長が選出され、下記の事項について審議を行い、承認されました。

審議事項

- 平成24年度事業報告について
- 平成24年度収支決算報告について
- 監事の選任について

報告事項

- 平成25年度事業計画について
- 平成25年度予算について
- 理事について
- 事務局職員について



創立10周年記念全国大会に500名を超える方々が参加！

オープニングでは



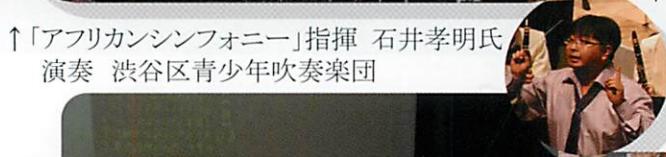
渋谷区内小・中学校に在籍する子どもたちを中心に編成された「渋谷区青少年吹奏楽団」(出演者約50名)による力強いファンfareを合図に、大会はスタート。「命をつなぐ木魂(こだま)の会」(会長 又川俊三 *1)のご協力を得て、東日本大震災被災者支援のため製作されたヴァイオリンを印田千裕さんが演奏(ピアノ早川聰美さん)。オープニングフィナーレでは、大会参加者全員が「花は咲く」(NHK「明日へー支え合おうー」東日本大震災復興支援ソング)を復興への祈りを込めて大合唱。

また、当日は、東日本大震災で身寄りを失った多くの孤児や遺児が教育を受け、学ぶ意欲を絶やさぬように支えていくために義援金のご協力をお願いし、その全額(36,891円)を「桃・柿育英会」(実行委員長 安藤忠雄)へ寄附いたしました。



↑「アフリカンシンフォニー」指揮 石井孝明氏
演奏 渋谷区青少年吹奏楽団

↑被災地で生まれ育った木材で製作されたヴァイオリンで
「からたちの花」(作曲山田耕筰)の演奏
ヴァイオリン 印田千裕氏
ピアノ 早川聰美氏



↑心を一つに、練習の成果を発揮(?)
熱唱するリードボーカルの菊池順子
正会員(中央)とおやじ日本合唱団

↑「花は咲く」(NHK 東日本大震災復興支援ソング)
を復興への祈りを込めて会場全体で大合唱。



「千の音色でつなぐ絆」プロジェクトについて(*1)

このプロジェクトは、東日本大震災の被災者支援のために、ヴァイオリンドクターの中澤宗幸氏が被災地で生まれ育った木材でヴァイオリンを製作し、その楽器の演奏を通して被災された方を励まし、亡くなられた方に鎮魂の祈りを捧げ、この震災でおきたことを風化させずに世代を超えて語りついでいくことを目的としております。ヴァイオリン製作に使う木材は、津波で無残に流され、瓦礫と化してしまった流木です。震災前、家の床柱や梁に使われ、被災地で暮らす人々の過去が刻まれた木を弦楽器として蘇らせ、千人のヴァイオリニストがリレーのようにその楽器を受け継ぎながら、千の音色を奏でその思いを繋げていくプロジェクトです。2012年3月11日よりリレーが始まり、年間100名を目標に活動を行っております。

「命をつなぐ木魂(こだま)の会」(会長 又川俊三 事務局長 大庭泰三) : <http://www.sennoneiro.com/>



第1部 「広がれ！おやじの輪」

おやじの熱い思いよ届け！子どもたちへ

「おやじの会でここまでできるのか！」「自分たちの会は活動をやり過ぎなのではないかと思っていたが、今日参加してまだまだだと思った。目から鱗だった。」「ダイナミックな活動に感動した。」「これまで抱いていた「おやじの会」のイメージが変わった。」等、大会参加者から様々な感想が寄せられた全国のおやじの会の活動。多様な活動内容に「面白そうだ。やってみたい。」「まだまだこれからやらなきゃ。」「もっと視野を広げたい。」と、おやじたちの心に灯が…。

「子どもたちに感動を！」 おやじ日本広島

青少年の健全育成を目標に掲げ、まず暴走族対策の取組みからスタート。会員は約30名、昨年度の参加延べ人数は2000人を超えた。活動内容は、①月1回のトイレ掃除。便器とともに心も磨いて、治安がよくなる要因になりました。②おやじの森の仕事。親子の活動で森の再生を目指し、人間が自然を保護すると同時に人間も森から保護されていることを感じました。③フットサル。青少年の居場所づくりを目的にチームを結成。④年1回のイベント。平成21年度は設立総会、そして今年は東日本大震災を風化させないための行事として被災ヴァイオリンと被爆ピアノのコラボの演奏会を開催。また有志が被災地を訪れ、ボランティア活動を実施しています。



「おやじ！地域へもっと足を運ぼう」 豊橋おやじネットワーク



豊橋市内の小中学校74校中、17校にあるおやじの会が連携して豊橋おやじネットワークは発足し、毎年おやじフォーラムを開催。第1回は、豊橋市市制施行100周年記念行事をきっかけに学校以外の活動を開始。夏には親子で校庭の側溝を清掃する「おやじ清掃」、校区の夏祭り、学校の一泊お泊まり会、冬には餅つきやミニ門松づくりをして日本の文化の伝承を学びます。東日本大震災の際は、ボランティアを募り、岩手県で炊き出し、岩手県の子どもたちを豊橋に招く「おいでんプロジェクト」、宮城県の仮設住宅に笑顔を届ける「えがおプロジェクト」を実施。そのほか児童養護施設の子どもたちの慰問なども実施。おやじにやることはいっぱいある。やるべきこともいっぱいある。やろうと思えば微力ながらおやじでもできる！

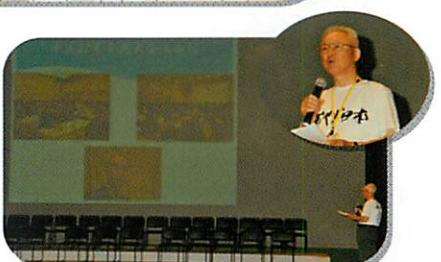
「自然体験を子どもたちに」 大子自然塾

オール世田谷おやじの会は廃校跡地を利用して自然体験の場を提供しています。親子が同じ場所・空間・時間を共有し、自然体験を通じて健全で感受性豊かな心を育み、地域とのコミュニケーションを図っています。また非現実体験から現状での幸せと感謝の気持ちを育み、おやじの威厳の回復を図っています。運営委員会と地元が協力して自主運営を行い、年間を通しての米づくり体験、そばづくり、きのこ栽培、炭焼き体験、くり拾い、茶摘み、ハイキング、渓流釣り、川遊び等々、活動は多岐にわたっています。



「学校にでかけよう！」 おやじ日本山形

平成21年4月に立ち上げ、今年で4年目です。平成22年11月にはおやじ日本全国大会山形大会を開催しました。また本年11月30日、おやじ日本山形大会を開催予定です。平成23年に外部に向けての実践活動である「学校へ出かけようプロジェクト」をスタート、民間企業社長、元県警刑事部長、大学教授、元銀行役員、高校校長を講師に迎え、学校などに出かけて子どもたち、PTAなどで講演活動を行っています。



「学校に社会の風を吹き込もう」 認定特定非営利活動法人おやじ日本

「未来教室」として小・中学校でのキャリア教育のコーディネートを行い、出前授業を実施しています。昨年まで延べ36校で3400名あまりが受講しています。協力会社32社から100名以上の講師が派遣されました。平成25年度は40校以上での開催を目標にしています。



第2部 「これから～日本の子どもたち～」

【基調講演】(要約)ダニエル・カール氏(タレント・山形弁研究家)



私が7歳のころに両親が離婚して、父子家庭になりました。

忙しいおやじでしたが、いろいろ教わりましたし、よくも面倒を見てくれたなといまになつてすごく感動しています。消防士でありながら、夜間学校に通つて、学士をとり、消防署長まで行きました。仕事を大事にしていましたが、家族のために寝ないで私のご飯や弁当をつくり、週末になると必ずどこかに連れていってくれました。長い夏休みにはどこか楽しいところにバカンスに行きました。お金があまりなかったからキャンピングカーでキャンプばかりしていましたが、そういうことをお父さんはよくやつたなと思います。私も子どもが生まれたらやっぱり父ちゃんみたいないい父ちゃんになりたいと思っています。

息子は山形県で真冬の地吹雪の真っ最中に生まれました。カリフォルニア生まれ育ち、常夏の国のビーチボーイだった私の息子なのに不思議に思いました。生まれた日私は東京で仕事を終えて特急で帰り、初めて抱っこしたときに約束しました。お前を大事にするよ、いい父ちゃんになってあげるよと。でもその約束を守るために苦労しなければなりませんでした。

いい人生を送るために、優先順位が大切です。人によって、歳によって優先順位は変わります。独身のときは、彼女が1番、仕事が2番、あるいは仕事が1番、彼女が2番、そして子どもが生まれると順番は変わります。仕事と女房もある程度大事、でもやはり子どもが1番になると思います。そのために何より大切なのがタイム・マネージメント、きちんと優先順位が守れるように自分の1日のスケジュールを調整することです。

息子が生まれたのは、私が芸能界にデビューして3年目、とても忙しい時期でした。毎日東奔西走、番組に出たり講演会で話したりしていましたが、夜8時には家に帰つて息子をお風呂に入れられるように調整しました。また寝かすのも私の仕事でした。九州や沖縄の日帰りでへとへとでも本を読んで、歌を歌つて、寝つきの悪い子どもでしたから一生懸命寝かしつけました。休みの日は子どもを連れて公園デビューをしたり、乳母車であちこち行きました。

自分の遊びはしませんでした。大好きなゴルフも息子が生きてからはやめましたので、すっかり下手になってしまいました。個人的な付き合いは全部やめました。1日は24時間しかありませんから、仕事も大事にして寝る時間もとると、子どもとの時間を大切にするためには、結局友達を犠牲にしなければならなかつたのです。お誘いがあっても、ごめん、息子が20歳になるまでちょっと待つてと。それでも本物の友だちは20年間待つてくれました。やっと20歳を超えたので、最近私は友だちと遊びまくっています。

ただ脇にいるだけで子どもに安心感を与えることもできるし、またお父さんに何か聞きたいときにすぐに聞けるような環境をつくらなければいけない。そのためにタイム・マネージメントが大切なのです。

また日本はアメリカと比べると縦社会です。年上の人人が年下の人を指導するという文化が根強い。いいところもあるけれども、それに悪乗りする人がいて相手を完璧にコントロールしてしまうことがあります。子育てもそうで、自分の子どもをコントロールしてはいけない。両親の一番大きな役割は、自分の子どもが成功、出世できるような性格づくりのために、うるさく上から命令するのではなくて、脇のほうから人生の先輩としてアドバイスをすることです。

21歳の息子とは、まだコミュニケーションがすごく多い。それは小さいころから親と話す習慣を育てていたからだと思います。ダメという言葉はうちの場合禁句でした。ダメな場合もダメと言わずになぜダメなのかを説明しました。

結局コミュニケーションが大事なのは、言うまでもなく一生に1回しかこういうチャンスはないから大事にしなければならない関係だと思うからです。そしてお互いの個性を尊重しているからです。息子は、いま親と全然違う道を歩んでいます。私は国際政治経済学を専攻し、女房は中学の英語の先生でした。でも工科大学に行って、親2人とも全然わからないことを勉強しています。私たちがああやったほうがいいよ、こうやったほうがいいよとあまりうるさく言わないで、自分で選びなさいよと、これは3~4歳のころから言っていました。

もう一つ、親父が言ったことと同じことを息子に言いました。親父が消防士でしたから、私は消防士にあこがれていますが、親父は、いや、消防士もいいけれども、あなたは何にでもなれるんだ、自分の努力次第だ、よく頑張ってよく勉強すれば、大統領にだってなれるんだぞと。それは親父が私の個性を尊重してくれ、自分の道を自分で選ばせてくれたわけです。何も邪魔をしないで、逆に激励してくれたことがすごく大切で、印象に残っている言葉です。

簡単にまとめますと、優先順位をまず決めてください。その優先順位を守るためにタイム・マネージメントで自分の毎日のスケジュールを調整してみてください。子どもとのコミュニケーションをたくさんとるために、たくさん時間をつくってみてください。そして親は聞き手になって子どもの話を聞いてあげて、間違っているところ、ちょっと歪んでいるところはアドバイスして直してみてはいかがでしょうか。自分の人生そのものを選ぶ権利を与えることによって、それが親から子どもへの一番のプレゼントになるのではないかと思うからです。

【ディスカッション】(要約)

竹花 ではダニエルさんも交えて父親の役割どのように子どもに接したらいいか議論を進めたいと思います。ダニエルさんは子どもさんが高校生になってから毎晩1時間から1時間半ぐらい二人で散歩をしたと聞いているのですが、本当ですか。

ダニエル 最初乳母車を押して歩いて、その延長が散歩だったと思います。高校生のときも毎日、5~10キロぐらいは歩きました。これは健康づくりのためでもありました、やはりコミュニケーション、たくさん話ができる環境をつくるためでした。

竹花 何をそんなに話をしたのですか。そんなに話をすることがありましたか。

ダニエル 息子が興味を持っている話題を取り上げました。中学生、高校生のころは世の中がどうなっているのか、いろいろ知りたくなります。びっくりしたのは9歳のとき、いきなりパレスチナ問題のことを聞かれました。私は大学生のとき専門でしたから、それを9歳の子どもにわかりやすいようにいろいろ説明しました。歴史の話とか1日では全部できませんでした。興味があって、また親父を全然怖がらずに遠慮なく話す子どもだったから私も話せたわけですが、それは小さいころからコミュニケーションを大事にしていたからだと思います。

竹花 ダニエルさんのお話や子どもたちの反応を見て、日本中だいたいこんなものですか。

早川 私は日本の父親なので、ダニエルさんのようなことができなかつたという反省をしています。仕事をいいことに夜は子どもと顔を合わさないというのが日常的でした。代表的な父親像はそんなところではないでしょうか。ただ一つ心がけていたことは、挨拶です。おはよう、お休みときちつと言ふことだけは決めていて、それは今でも大切にしています。

ダニエル 親の何よりの希望は、自分の子どもが未来に出世すること、人生がうまくいくことです。今の世の中、自分の子どもに挨拶をしない親がいる。それが自分の子どもの足を引っ張っています。挨拶がきちんとできない人は会社の中でも絶対出世できません。私は息子に「オアシス」を教えました「オ」は「お願いします」、「ア」は「ありがとうございます」、「シ」は「失礼します」、「ス」は「すみませんでした」です。山形県教育委員会ではオアシス運動を何十年も前からやっています。何でそんなことを学校で教えなければならないのか。それは教えない親が増えているからです。

竹花 差支えない範囲で、いま日本のお父さんやお母さんについてこれはおかしいのではないかとか、ここはいいとか、何かご意見はありますか。

ダニエル やはり自分の子どもとのコミュニケーションを大事にしない親がたくさんいると思いました。公園で見た光景ですが、大好きなお母さんに一生懸命話しかけようとした子供が、自分の楽しい大人同士の会話に夢中で母親から無視された。その悲しそうな子どもの様子は何とも言えませんでした。そのあとその子どもはどうなったんだろうと思いますが、母親と二度と話をしたくなかったのではないかと心配しています。その一瞬の出来事で子どもとの関係がまずくなったのではないか。子どもが邪魔だとかペッテだと思っている親が結構いるのだなと思いました。子どもの人格を尊重しなければならないと思いました。もちろん全員がそうではありません。ただ全体の中の何割か、そういう親がいて、それが怖いと思いました。

進行:

竹花豊(おやじ日本理事長・東京都教育委員)

スピーカー:

ダニエル・カール氏(タレント・山形弁研究家)

早川信夫氏(NHK解説委員)

新国寛子氏(世田谷区立中町小学校教諭)

牛島正廣氏(元東京都中学校長会会长)



↑ディスカッションに参加して下さった 世田谷区立中町小学校6年生 世田谷区立中町小学校OB中学生 目黒区立東山中学校3年生 東京都内高校生 十文字学園女子大学生 慶應義塾大学生

竹花 さつき子どもにアドバイスをするという姿勢で接することはとてもいいとおっしゃいましたが、どうしてそういうふうに思いましたか。

高校生 子どもは親の所有物ではないし、上下関係だと対等なコミュニケーションができない。友だちみたいな対等な目線に立ってコミュニケーションが取れるといいと思いました。

竹花 お父さんとの関係は、いろいろ意見を聞いたり、アドバイスをしてくれたほうがいいか、それともこれはこうだ、これはダメだとはっきり言ってくれたほうがいいか、どうですか。

中学生(女) 親から意見を押し付けるのではなくて、ダニエルさんみたいに個性を尊重して理解してあげて、意見を言って教えた
り諭したりするのが本当にいいことだと思います。

中学生(男) 間違っていることがわからないときもあるから、そういうときはちゃんと言ってもらいたい。強く言われるよりは、アドバイスのほうが子どももわかりやすいと思います。

中学生(女) 私も子どもと同じ目線からのアドバイスで、間違っているところはその理由を伝えてもらえば自分で気づき、自分の意見が生まれ、自己ができていくのかと思います。

竹花 しつこいようですが、厳しく言わないと子どもはわからないと思っているお父さんがたくさんいると思います。お父さんも怒鳴り散らしたくて怒鳴るわけではないだろう。でもやっぱり厳しく言っておかないと君らが社会に出てから困るのではないかと思って言うのかもしれない。だけどそういうふうに厳しく言うのはダメでしょうか。

高校生 学校の先生が厳しく叱ることは、よく面倒を見ているというか、踏み込んでそう言っている先生もいます。厳しく怒ることもそんなに悪くないのではないかと思いました。

ダニエル 厳しく教える必要性がある場合、ない場合があります。たとえば自分の子どもが悪いことをしたとき、何で悪いか説明しながらガツンと怒ります。その人の気持ちを想像できないのか、何で人をいじめるのか、何で人をいじめてうれしいのか、それはおかしいと思ったらもちろん厳しく教えます。ただ怒る前に説明してみてはいかがでしょうか。理屈を使ってインテレクチュアルなアプローチで説明すると、それははるかに残るのではないか。ガツンと怒られたときは、インパクトはあるけれども、怒られた理由がわからなかつたら、あとで大変なことが起こるかもしれない。繰り返して同じ悪いことをしたら、そのときはやっぱりガツンと怒らないといけないかもしれないけれど、普通の子どもだったら1回説明しただけでわかるはずだと思います。

竹花 私が最近問題だな、大変だなと思っているのは、かつての日本の社会は子どもたち、若者が社会に出たときに、社会がそれを温かく迎えて、その若者たちにいろいろ教えて、そして伸ばしてきました。ところが最近の日本の社会は、その余裕がだんだんなくなっていました。非常に厳しい経済状況もあって、せっかく大学を出て就職をしようとしても、自分に合うところを見つけられない、あるいは企業のほうでもなかなかいい子どもがいないと思っている。またせっかく就職しても自分に合わないとすぐに辞めてしまう子どももたくさんいます。新しい職業をすぐに見つけることができればいいのですが、それができないままずっと社会から取り残されていく若者もずいぶん増えていることを大変懸念しています。

子どもたちが社会人になるのに何が必要なのか、どんなことが苦労なのかちゃんと話をしてから、社会に送り出せば、子どもたちがもっと我慢することもできれば、自分の意見をもっと述べることもできるのではないか。私が「未来教室」を一生懸命やっているのも、働く現場の苦労や大変さを直接知ってほしいという意味合いもありました。私どもはそういう視線で本当に子どもたちにちゃんととしたことを伝えなければいけないと思っています。

大学生に伺いたいのですが、これから就職のことも考えなければならない時期に来ていると思います。今までどんな仕事に就くか、どんな社会人になっていくのかという視点で両親、あるいは学校からいろいろなことを教えてもらったと感じていますか。

大学生(女) 私の場合は、そのときどき中学校だったら高校をどこに行こうかとか考えていたような気がします。だから社会に出るためにはとかそういうことは考えてませんでした。

大学生(女) 進路についてはいつも親に相談しましたが、私の意見に親が反対したこともありました。親の言うことが正しくても言い方が強いと私もちょっと受け入れづらかったので、ダニエルさんのようにアドバイスしてくれていたら、受け入れやすかったと思います。

竹花 就職が決まった大学生、これから結構厳しいですよ。その準備はできていますか。

大学生(男) 仕事は今思っている以上におそらくもっと大変だと思います。でもつらいときに家族があればそれを守るために頑張れると思いますし、何か家族意識みたいなものがあれば力を発揮することができると思います。今のうちに社会に出て自分は何をしたいのか、何のために働くのかその目的を定めておきたいと思います。

大学生(男) 僕は、少林寺拳法の部活動の中での成功体験や下積み時代の経験が、これから社会に出て頑張っていける活力を磨いてこられたと思っています。

竹花 お父さんから自分の将来について何かアドバイスを受けたことはありませんか。

大学生(男) 就職活動中は父に相談に乗ってもらう機会が多くて、父と同じ業種に進むことになったのは父のアドバイスがあつたからだと思っています。

大学生(男) 僕も一番身近な社会人の先輩である父親にすごく相談していろいろな情報を得て自分を見つめ直して決めました。やはり自分の一番の理解者だと改めて思い直しました。

竹花 高校生は、自分の生きていこうといところはだんだん固まってきますか。

高校生 僕の将来の夢は公務員として国の省庁で働くことです。日本を支えていくすごくやりがいがある仕事だと思うので、今から社会問題などに关心を持って頑張りたいと思っています。

竹花 中学生はまだ先のことはあまり考えていないでしょうか。

中学生(男) 受験生ですし、まだ部活も引退していないから集中して考える時間がないのですが、お父さんの仕事について聞いたりして、今からちゃんとやりたいと考えています。

中学生(女) 私も受験生で将来についてなかなか本腰を入れて考えていませんが、受験が終わったらじっくり考えていきたいと思っています。

中学生(女) 将来のことを考えて勉強やいろいろ経験を積んでいきたいと思っています。

中学生(男) まだそんなに考えていませんが、将来に向けて今できることを頑張っていきたいと思っています。

竹花 では小学生はこんな職業に就きたいということは思っていませんか。

小学生 僕はプロのサッカー選手、ディフェンスがしっかりとでき、みんなを纏められるような選手になりたいと思っています。

小学生 僕は生き物が好きで、生物の図鑑をいつも読んでいて、過去の生物や今の生物を研究して、これからの生物がどういう方向に向かっていくか研究したいと思っています。

竹花 今の小学生の話を聞いて、大学生は小学生のころの夢と今の自分と比べてどうですか。

大学生(女) 小学生のころ楽しんでいたものは、いまでも好きでやりがいのあるものになっています。今私はゼミでマーケティングを学んでいますが、ものを買うときの人の心理など人の心理を考えていますが、昔から人を観察することが好きだったからだと思います。

大学生(女) なりたい職業は違っていますが、小さいときから家族がみんな仲がいいので、それに影響されてずっと仲のいい家族をつくりたいと、その気持ちは今でも変わっていません。仕事と家庭が両立できるような、バランスのとれた仕事をしたいと思っています。

竹花 将来、自分がなりたかった職業をうまく実現することはなかなか難しいだろうと思います。でも何か好きなものがあると、そこを勉強する。それがあとあととも役に立つという話は、企業の出前授業をやっている中でもよく聞きます。何か動機づけが与えられると、とてもいいのではないかと感じました。早川さん、今までのお話を聞いてご感想はいかがですか。

早川 とても頼もしい子どもたちだなと思いました。その中で今自分が好きなことを伸ばしていきたいという気持ちはとても大事だなと思います。その中でより伸びていくためにおやじたちがやることは何だろう。おやじたちは職業に関してアドバイスすることよりも、むしろ世の中や地域社会のいい大人と出会わせる場面をつくることではないかと思います。

親と子、友だち同士は、縦横の関係でしかないと思うのですが、地域社会は斜めの関係で、いろいろな人がいて、いろいろな生き方をしています。職業を選ぶというよりむしろ生き方を選ぶためのいい出会いがこれから皆さんにあるといいなと思いながらお話を聞きました。

竹花 新国先生、子どもたちにはいろいろな夢もあると思うのですが、今の学校教育はそういう子どもたちの夢をつぶすような方向に動いていませんか。

新国 教育現場はいろいろな子がいて、いろいろな家庭の子がいて、一人ひとりが多様な個性を持っています。そんな中で一人ひとりを伸ばしていきたいのですが、1時間の授業でこういう力を持つのは、すごく難しいなと思っています。先日の未来教室で、こんなことがあったんだ、世の中でこんなことが起きているんだという発見が子どもたちの心に火をつけて、子どもたちはいろいろ感じ取ることができました。また来ていただきたいなと思っています。

竹花 今の中学生は全体として頑張っている、それとも元気がない、どう感じますか。



牛島 全体としては夢をいっぱい持っていると思います。ただ、その夢があまりにも非現実的なものもあって難しい部分もありますが、でも夢に向かって火をつけてあげるのは学校だと思っています。ただ地域の方、ご家庭の考えも含めて支援が合わさらないとなかなかうまくいかない。そして本人がその夢に向かって具体的に何をすればいいか、しっかりと考えて努力をしていく。そうすれば夢は実現できる。いろいろな大人が学校に入っていって、いろいろな生き方があって、自分はこう生きているけれど、小学校のとき、中学校のときこうだった、こんなことをしたということを伝えていくことが、きっと子どもたちへの夢の近道だと思っています。

竹花 では子どもたちから日本の人たちに、また学校や両親にこんなことをしてほしいとか、これはだめだよといったご意見があれば教えてください。

小学生 学校は新しいことを知ることができ、新しい発見がある場所なので楽しいです。

中学生(男) 黒板をノートに写す授業ではなく、もっと外に出る授業をやりたいです。

中学生(女) 社会で役立つこと、生きて行くために必要なことをもっと教えてほしい。

中学生(女) 友だちの中でも家族の仲がよくない家庭の子は自分中心になってしまって、周りが見えなくなる子が多いと思う。家族がお互いを尊重し合って仲良くしてほしいです。



中学生(男) 両親への個人的な要望ですが、これからは家族で何かする機会もだんだん減ってくるので、まだ子どものうちにいろいろなところに行って、その文化を体験したい。また旅行することで家族の絆が深まつたらいいと思います。

高校生 言葉づかい、思いやり、友だちとの接し方といった教養は本当に大事だと思うので、小学校のときから教えてほしい。もう一つは、英語を小1からやってほしいと思います。

大学生(女) いろいろな世界があることを子どもたちに教えられるのは親や学校なので、視野を広げられるような環境づくりが必要だと思います。

大学生(女) 父は仕事から帰ってきてから祖母の介護を積極的に行ってます。その姿を見て私も将来はちゃんと親の面倒をみたいと思っています。皆さん忙しいと思いますが、子どもはいろいろなことを見ているので、できることをしっかりとやっていい姿を見せてほしいです。

大学生(男) たとえば会社から帰宅したときに「今日は疲れた」というネガティブな言葉ではなくて「今日も1日頑張った」というポジティブな言葉で語りかければ、子どもも社会っていいものだ、これからこんなすばらしい人生があるという気持ちになると思います。

大学生(男) お願いは一つだけ、大人はずっと死ぬまでカッコよくあり続けてほしいです。自分のあこがれる人、理想の人が身近にいれば絶対そうなりたいと頑張れると思います。自分はおやじだからではなくて、おやじ日本で死ぬまでカッコよくあり続けてください。

竹花 では今までの子どもたちの意見を聞いて、ご感想を言っていただければと思います。

ダニエル 皆さん、すごくよくいろいろなことを考えていていい発言をたくさん聞きました。自分のことと重ね合わせて、皆さんやっぱり親が好きなようで、それは親に大事にされた証拠でもあると思います。これからも両親と仲よくして、勉強も楽しんで、人生にはたまにはつらいこともあるけれど、サポートしてくれる家族がいつまでもいるから元気を出すことが大切です。

最後におやじの役割を一つ。成功の仕方、出世の仕方はいっぱいあることを教えてください。受験に失敗してもそれで人生が終わりじゃない。出世の仕方は山ほどある。スポーツ、音楽、料理等々、道はいくらでもある。そこで幸せになることが何よりの出世です。自分に合った仕事を見つけられたら何より楽しい。家族を大事にして、自分の人生を大事にすること、そして自分の子どもが出世するために個性を尊重して、愛情を注ぐ。出世は社会が決めたことじゃない。自分が決めたことだということを子どもに教えてあげてください。

竹花 最後に早川さん、よろしくお願ひします。

早川 今日は子どもたちから元気の出る話をたくさん聞かせてもらい、そのことにまず感謝したいと思います。皆さんのがこのまま育つていけば日本の未来は明るいと思います。皆さんの宝である大人を元気にさせる力を大事に伸ばしていただければと思います。

さて大人の皆さんにお話し申し上げたいのですが、子どもと向き合うこと以上に大切なのが寄り添うことです。それを「大きな耳、小さな口、やさしい目」という言葉でまとめてみました。ともすれば今日日本の親たちは小さな耳、大きな口、険しい目になっていないだろうか。今日のダニエルさんのお話はまさに子どもたちの声、それは言葉の声だけではなくて心から伝えたいと思っている心の声かもしれません、それを大きな耳を傾けて聞き、小さな口であり出しゃばらず、そしてやさしい目で見守る。そういう大人たちがたくさん増えていけば、これから生きづらさの中で生きていく子どもたちが生きやすくなってくるのではないかでしょうか。

もう1点、「生きる力」という言葉ですが、自分で判断し、自分で学んで、自分で考える力をつけていくことがこれから本当に必要なのだろうと思います。それは学校教育だけでできることではなくて、おそらく家庭や地域にとって生きる力をつけていくことがこれからとても求められていく時代になっていくのではないか。そして子どもたちが自立的にものを考え、自分で判断し、自分で前に進んでいく、こうした力がつけられるよう、今日の機会をとらえてみんなで一緒に頑張りたいと思いました。

最後に、おやじ日本は10年たちましたが、大事なのはこれから10年だと思います。竹花さんや私は、この先10年はわかりませんが、今日この壇上に集まつた人たちが、10年後どんな成長を遂げているのか、またこの場でまみえたらおもしろかろうと思いながら、私のまとめにしたいと思います。

竹花 今日のダニエルさん、そして皆さんのお話は非常に深く胸に刻まれたものがあります。お忙しいなかをおやじ日本のこの大会に参加していただき、心からお礼を申し上げます。皆様方の一つひとつの発言を参加された多くの方々が重く受け止めておられると思います。その上でまた何かが生れていくのではないか、またそのようにしなければならないと改めて思います。



開会前の打ち合せ

第2部出演者全員で控え室にて打ち合わせ↓



交流会では… ご尽力頂いた多くの方々に心からの感謝をこめて



↑渋谷区区長桑原敏武様より大会/交流会でご挨拶を賜りました。



↑ご参加頂いた皆様のご健勝とおやじ日本の更なる発展を祈念するとともに、竹花理事長への敬意と感謝もこめてエールを唱和。音頭は交流会進行役ベテランの篠原正会員



おやじ日本が誇る！「舞台・IT チーム」大活躍

盛りだくさんの今大会では、舞台・ITチームが大活躍！ 参加者からは「技術のプロがいるのですか？」という身に余る光栄なお尋ねも。高いスキルレベルとチームワーク力を大いに発揮。「進化」をキーワードに様々な難題にチャレンジ。「どうやったら実現できるのか？」「とにかくやってみよう」と、チーム一丸となって創意工夫を重ね課題を解決。謙虚な姿勢と共に感がチームの個性。



左上段から
リーダー片山潮
サブリーダー森田孝明
サブリーダー小池英仁
渡部徹 篠原豊
アシスタント 吉成惇
楠本岳志 厚東克己
寺澤恵太郎
坪田知広 藤井武志
松田亨 濱口和久
竹内宏一 伊沢公晴

笑顔が素敵なおやじ日本エンジェルス(?)

大会スタッフ

→大会で挨拶をする、
二村好彦大会実行委員長



←合言葉は「Yes, I can」各スタッフチームの強力なサポート。
おやじ日本エンジェルス(?)

新聞等にて大きく報道！

●「おやじ日本」が創立10周年だ。

平成25年7月12日内外教育

認定NPO法人「おやじ日本」(理事長・竹花豊東京都教育委員)は6月30日、東京都渋谷区の同区文化総合センター大和田で創立10周年記念全国大会(第11回)を開催し、約600人が参加した。

会場は各地の「おやじの会」の連合組織として、2004年に結成。正会員(年会費1万円)は約140人を越え、登録会員(同1000円)は約1000人を数える。子ども達の登下校を見守る「83(ハチサン)運動」、携帯電話やインターネットの弊害から子どもを守る「i-S(アイエス)運動」などに取り組んでおり、11年からは企業と学校の連携を支援する出前授業「未来教室」も始めた。

被災地ボランティアも

開会前にはアトラクションとして、同区青少年吹奏楽団とバイオリン演奏田口裕子さん、ピアノスト草川聰美の演奏が行われた。田口さんは東日本大震災の流れ木が使われた「震災バイオリン」を使用。ラストは参加者全員でNHK復興支援ソング「花は咲く」を合唱した。

子ども優先の時間管理を

竹花理事長は創立以来の活動について、司会役の早川信夫N.H.K解説委員の質問に答える形で「あつ」という間の10年だった。最初は「お父さんにもうちょっと子育てで参加してほんとは何かなができるだらう」と軽い気持ちで始めたが、何かなに続くことは



し、世の中を変えるものでもないが、少しでも役に立てればと、いう気持ちでやつてきたことが多く

方々の共鳴を得たのではないか」とした。
続いて第1部として、各地から活動報告があつた。最初に発表したのは「おやじ日本広島」の面々。広島はかつて竹花会長が県農本部長で成暴騒動問題と青少年の健全育成に奔走して、農業を上げた所で、現在も公衆トドイ掃除や里山清掃の活動を続けるほか、若者の居場所づくりとしてフトサルや、東日本大震災の被災地ボランティアも行つてゐる。墨走族のリーダーだった者も今や父親とともに熱心に参加しているといふ。「震災バイオリニン」と広島の被災、「彼ば〜ビアノ」のコラボレーションコンサートを開催した時のニュース映像を紹介した後、「おやじ日本広島、頑張るぞ！」エイエイオー!!」と気勢を上げた。
「農橋おやじネットワーク」は、親子清掃や校区の夏祭り参加、フェスティバル開催などを行うことで、地域支援としては岩手県田沢市、福島県石巻市、宮城県大河原町へのボランティア活動のほか、原発事故の影響外に出にくかった福島県いわき市などの子どもたちを想い、思い切り遊んでもらおうと「農橋おいでんプロジェクト」も行つた。こうした活動もないないと感じないかと、会を通じて全国の活動を知り、触発された視野が広がつたことが要因だといふ。「やれることが多い」という。やるべきことにもつぱりある大事だ。やつてきたことは当たり前のことをやつける。じやあ、いつやるの？ 今でしょ！ おやじ全員で「花は咲く」を大合唱

廃校活用など新たな動き

NPOの記念大会で報告

廃校活用など新たな動き

NPOの記念大会で報告

平成25年7月15日 日本教育新聞

◆ 「おやじ日本」全国大会

創立10周年を迎えた全国の「おやじの会」を支援する「NPO法人おやじ日本」が今月30日、東京都内で全国大会を開催する。今大会のテーマは「広がれ！おやじの輪へ語ろう子どもたちと」。第1部は各地の活動報告書、第2部はタレンタのダニエル・カルールさんの基礎講演や子どもたちを交えた討論が予定されている。オープニングでは東日本大震災の被災地へ祈りをささげるため、津波による流木で作ったバイオリンの演奏や合唱が行われる。

大会は午後1時半から、渋谷区文化総合センター大和田「さくらホール」で開かれる。定員は500人、参加費は無料(資料代500円)。問い合わせは、おやじ日本(03-3462-7113)へ。

平成25年6月11日
読売新聞

平成25年7月1日
読売新聞→

全員で「花は咲く」合唱

おやじ日本が10周年
記念全国大会を開催

A photograph showing six individuals from the waist up, standing side-by-side in a horizontal line. Each person is wearing a white t-shirt with the Japanese characters "花菱咬み" (Hanabishi Chomiki) printed on it in black ink. The individuals are of various ages and ethnicities. The background is dark and out of focus.

オリンピックで東京が開催される。日本は、この機会に世界の舞台で活躍する。また、東京は、国際化された都市として、世界中の人に認知される。

おやじの会発足のきっかけから現在までをビデオに映しながら紹介する「おやじ日本広島」のメンバー

父親は子孫の「自己」の体験などをアーティカルとし、子育ての闇をわざとをトーケーとして語る。アドバイスなど、アドバイス的であるところが特徴である。

平成25年7月15日 家庭教育新聞

SPECIAL THANKS

ご贊助、ありがとうございます。

AYA交通(株) 飯田五郎 石田桂久 一越観光(株) 弁護士今井和男 (株)オオコシセキュリティコンサルタント 尾崎毅
開進交通(株) 学校給食用食品メーカー協会 木藤繁夫 キャピタルモータース(株) キューピー(株) 三幸交通(株)
JYSジャパン(株) 渋谷ビル経営者協会 昭栄自動車(株) 省東自動車(株) (社)スコーレ家庭教育振興協会 杉並交通(株)
すばる交通(株) 全国読売防犯協力会 大栄交通(株) 大洋自動車交通(株) 高砂自動車(株) つくば観光交通(株)
つばめ交通(有) テレビ愛知(株) 東亜交通(株) 東京協同タクシー(株) (株)東京交通新聞社
東京コンドルタクシーグループ 東京都個人タクシー交通共済協同組合 中嶋雄一 中務嗣治郎 日興自動車(株)
日個連東京都交通共済協同組合 日個連東京都営業協同組合 西会計事務所(株) 交通総合センター 日日交通(株)
(株)ニューオークラ 広島中央ロータリーカラブ 日吉交通(株) 弁護士深澤直之 不二交通(株) 富士自動車(株)
(株)ベースック 保険情報サービス(株) (株)ホットマン (株)宮本企画宮本照夫 読売新聞東京本社 (株)リード
龍生自動車(株) (株)ローソン

(五十音順)

平成25年度認定特定非営利活動法人おやじ日本理事・監事

理 事 長: 竹花 豊 副理事長: 二村 好彦 伊東 一吉 納富 善朗 常務理事: 小山 洋子
理 事: 淺野 悅洋 伊沢 公晴 小池 英仁 寺澤 恵太郎 深川 猛 森田 孝明 山下 哲夫 和田 英光
渡部 徹 渡辺 嘉郎
監 事: 長坂 敏史 岩崎 智彌

(なお、理事長、副理事長、常務理事については7月11日開催された平成25年度臨時理事会にて決定)

正会員

(平成25年7月31日現在 理事・監事は除く)

青木かの 赤枝恒雄 浅田和伸 浅沼仁 阿部敏彦 阿部桃子 阿部豊 池内ひろ美 池田利美 石井美知夫 石川きよ子
石川礼子 石坂真一 石田桂久 石原正康 磯野信男 市村智 伊地知伸久 伊藤雄二郎 上田準二 牛島正廣
宇都宮啓 内海正憲 梅原伸二郎 岡本和久 尾形和男 萩野善昭 奥谷泰史 長村和典 小田啓二 小野真 折笠廣司
鍵山秀三郎 柏田榮文 加藤多津生 加藤浩康 金井務 河内鈞一 菊池順子 北貞丈 楠本岳志 黒沼範子 上月正博
厚東克己 児玉英一郎 櫻井邦彦 櫻井兼二 櫻田厚 澤柳雪恵 篠原豊 島崎健二 清水武治 白石弥生子 関口充
関根行雄 高島信義 高野眞治 高橋千善 竹内宏一 竹内光弘 竹内ゆき 田中壯一郎 田中利裕 田中秀樹 田中義人
田辺尋子 谷口喜一 谷口雅典 塚田茂晴 辻本篤郎 坪田知広 寺澤法子 照井康平 徳納孝昭 富田啓子 富田浩志
鳥井公一 中井滋 永井佳久 中務正裕 中山美子 西野和広 西村堯 布村幸彦 野口修 野田勝憲 野田和喜子
萩原太郎 橋詰悦荘 橋本壽夫 橋本英樹 橋本満 馬場成一 馬場久和 濱口和久 濱島健祐 平尾潔 平澤正英
平間研司 福井昂 藤井武志 藤川元 藤川由美 藤田三枝 二上直弘 堀川寛 本田郁雄 前田慎吾 前田充紀 政本猛
松岡裕子 松田亨 松田匡史 松土直 松本正則 三浦隆子 三宅勇雄 村橋泰志 森上展安 山口敏 山根直樹
山本正士 横山佳夫 若林悦子 脇山幸之 渡井勝成 渡辺英治 渡辺和子 渡辺靖子

(五十音順)

～広がれおやじネットワーク～

おやじ日本山形大会開催！

日時: 平成25年11月30日(土)午後

場所: 調整中

内容: 基調講演 竹花豊(認定NPO法人おやじ日本理事長)

参加ご希望の方は事務局まで

来年もぜひご参加下さい！第12回全国大会

日時: 平成26年6月29日(日)午後

場所: 渋谷区内(予定)

◇◆ 活動報告 ◆◇

平成 24 年度

☆第 4 回定例理事会 3 月 2 日(土)

審議事項

平成 25 年度事業計画について
平成 25 年度事業予算について
役員・職員給与規程について
役員費用弁償規程について

報告事項

創立 10 周年記念全国大会について
「新たな 10 年」のための組織の整備について 他



☆運営委員会

1 月度運営委員会 1 月 26 日(土)

新年互礼会及び決算報告 未来教室 iS 運動 83 運動

正会員交流会及び決算報告 おやじ日本広島大会

創立 10 周年記念全国大会 未来教室関連冊子

「新たな 10 年」のための組織整備 他

2 月度運営委員会 2 月 16 日(土)

創立 10 周年記念全国大会 「新たな 10 年」のための組織
整備 未来教室 iS 運動 83 運動 おやじ日本広島大会
記念大会関連冊子 他

3 月度運営委員会 3 月 16 日(土)

平成 24 年度第 4 回定例理事会 未来教室 iS 運動

83 運動 おやじ日本広島大会 記念大会関連冊子

創立 10 周年記念全国大会 他

☆創立 10 周年記念全国大会実行委員会

第 1 回実行委員会 12 月 15 日(土)

企画 予算 実行委員名簿 他

第 2 回実行委員会 1 月 26 日(土)

企画 予算 実行委員名簿 他

第 3 回実行委員会 2 月 16 日(土)

企画 大会チラシ プログラム 他

第 4 回実行委員会 3 月 16 日(土)

企画 大会チラシ プログラム 参加要請 他

☆創立 10 周年記念全国大会舞台・IT 技術チーム打合せ会

第 1 回 2 月 16 日(土)

第 2 回 3 月 8 日(金)

第 3 回 3 月 30 日(土)

平成 25 年度

第 4 回 4 月 20 日(土)

第 5 回 4 月 30 日(火)

第 6 回 5 月 18 日(土)

第 7 回 5 月 30 日(木)

第 8 回 6 月 9 日(日)



賛助・寄附のお願い

おやじ日本は活動の趣旨に賛同して下さる方々に賛助・寄附を募っております。皆さまからのご理解とご支援を頂きたく、お願い申し上げます。おやじ日本は、国税庁から認定NPO法人(国税庁課法11-86)として認定されていますので、おやじ日本に対して寄附または贈与された方につきましては、所得税、法人税または相続税上の課税について、寄付金控除等の特例が適応されます。賛助のご協力を頂ける方は下記振込先にご入金をお願い申し上げます。

みずほ銀行新橋中央支店 普通2059554 口座名 おやじ日本 ゆうちょ銀行 00150-9-631618 口座名 おやじ日本
必要とされる方には領収証を発行させて頂きます。ご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

【発行】認定特定非営利活動法人おやじ日本

住所 〒150-0042 渋谷区宇田川町5番2号 渋谷区役所神南分庁舎3階

電話&ファクス 03-3462-7113

ホームページ <http://oyaji-nippon.org/>

事務局担当理事 小山 洋子 desk@oyaji-nippon.org

編集協力 丸山容子 京須和恵 写真提供 小川写真館 加藤多津生

ここに記載の内容は全て無断転載を禁じます

平成 25 年度

☆総会 6 月 30 日(日)

於 渋谷区文化総合センター大和田4階 大練習室

☆第 1 回定例理事会 5 月 11 日(土)

審議事項

平成 24 年度事業報告について

平成 24 年度決算報告について

理事選任

監事候補について

総会議案について

役員費用弁償日額について

防災事業について

報告事項

平成 25 年度正会員名簿について

平成 25 年度事務局職員について

創立 10 周年記念全国大会について

おやじ日本山形大会について



☆運営委員会

4 月度運営委員会 4 月 15 日(月)

第 10 回全国大会 iS 運動 83 運動

平成 25 年度正会員名簿 平成 25 年度事務局職員

未来教室 おやじ日本広島大会 紹介パンフレット発行

創立 10 周年記念全国大会 防災事業 他

5 月度運営委員会 5 月 11 日(土)

平成 25 年度第 1 回定例理事会 平成 25 年度正会員名簿

平成 25 年度事務局職員 役員費用弁償日額 未来教室

おやじ日本山形大会 創立 10 周年記念全国大会 他

6 月度運営委員会 6 月 15 日(土)

平成 25 年度通常総会 平成 25 年度営利事業廃止 平成

24 年度国税局報告手続き 防災親子教室 未来教室

創立 10 周年記念全国大会 他

7 月度運営委員会 7 月 11 日(木)

臨時理事会報告 創立 10 周年記念全国大会 他

☆創立 10 周年記念全国大会

6 月 30 日(日)

於 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール

☆創立 10 周年記念全国大会実行委員会

第 5 回実行委員会 4 月 15 日(月)

企画 役割分担 プログラム 参加要請 他

第 6 回実行委員会 5 月 11 日(土)

企画 大会チラシ スケジュール 役割分担

プログラム 配布資料 会場下見 参加要請 交流会 他

第 7 回実行委員会 6 月 15 日(土)

プログラム スケジュール 及び役割分担 配布資料

参加要請 交流会 他

